



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2009~2010)

- ・国際協会会長 『The Power of One』 「一つとなる力」
Kevin Comming (Canada カナダ)
- ・アジア地域会長 『The Power of One』 「一つとなる力」
スローガン 「Dreaming Asia, Loving Asia」
「夢見るアジア、愛するアジア」
Chon Byung-Koo (Korea)
- ・西日本区理事 『すべてのいのちを大切に』
「Love & Care for All the Living Things」
-いのち・平和・環境- -Life, Peace, Environment
鈴木 誠也 (神戸ポートワイズメンズクラブ)

- ・六甲部 部長 『希望の灯^{ほつぽ} となろう』 「Be the Light of Hope」

大田 厚三郎 (神戸西クラブ) - 地域社会を励ます活動を実践しよう -

- ・西宮クラブ 会長 浅野 純一 『奉仕活動を行えることに感謝し、力を合わせて今一步活動の輪を広げよう』

2009年7月 西日本区強調ポイント “Kick-off・EMC-C” あなたは例会に何を求めて参加していますか
クラブに5年後、10年後が見えていますか。 廣井 武司 EMC事業主任 (京都プリンスクラブ)

2009年7月
734号 60周年
63期1号
since 1948.5.17

スポンサークラブ
大阪クラブ
DBC
近江幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員

会 長 浅野 純一
直前会長 濱 浩一
副会長(次) 馬場 一郎
副 会 長 岩田 健司
書 記 廣瀬 一雄
書 記 岡田 祐一郎
会 計 山本 常雄
会 計 足立 康幸
監 事 阪根 新
- 監 事 小野 勅紘
担当主事 三島 浩司
六甲部代議員 山口 政紀
部メネット主査 浜美智子
区事務局員 小野 勅紘

2009年7月第1例会のご案内

今月のテーマ: 『Kick-off EMC-C』

日時: 2009年7月17日(金)午後7時~

場所: 西宮YMCA 保育園3Fホール

ドライバー 足立メン 堤メン

1. 開会点鐘 浜 直前会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読
4. ゲスト紹介
5. 会長・役員引継式 直前会長 新会長
6. 食前の感謝
7. 入会式 馬場 貴英さん
8. オカリナ演奏 神戸学生青年センター
飛田 雄一 事務長
9. 活動計画・予算・決算報告、質疑応答と審議
10. 誕生日のお祝い 一同
11. ワイズニュース 浅野 会長
12. YMCA 報告 三島館長
13. 閉会点鐘 浅野 会長

今月の聖句 『イエスが座り、十二人
を呼び寄せて言われた。「いちばん先になりたい者は、す
べての後になり、すべての人に仕える者になりなさい。」
そして、一人の子供の手を取って彼らの真ん中に立たせ、
抱き上げて言われた。「わたしの名のためにこのような子
供の一人を受け入れる者は、わたしではなくて、わたしを
お遣わしになった方を受け入れるのである。」』
マルコによる福音書 9章35~37節 清水メン選

6月 例会出席状況	在籍会員数	21名
第1例会(6.19金)	第2例会(5.31日)	
メ ン 15名	メ ン	9名
メネット 2名	メネット	0名
ゲスト・ビジター 2名	ゲスト・ビジター	0名
合計 19名 (出席率 %)	合計	9名

Happy Birthday To You
お誕生日おめでとうございます
7/8 岩田 成子 メネット
7/16 濱崎 保津美メネット
7/20 藤原 百合子メン

西日本区強調月間リスト “Kick-off・EMC-C”
EMC Extension Membership & Conservation **ご覧ください。**
URL: <http://www.kobeymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html>

会長メッセージ

浅野 純一 会長

ワイズメンズクラブの新しい年度が始まりました。今年度、会長の仕事を担うことになりました。いま、60年記念誌の刊行に向けて、小野、廣瀬メンを中心として作業が進められていますが、改めて歴史あるクラブの会長を引き受ける重要性を思わずにいられません。

今年のテーマは濱直前会長の主題を受け継ぎ、奉仕活動に少しでも多くの参加を呼びかけるものです。私は参加し、さらに活動を広げることで人間として成長したいと思っています。キリスト教精神からすれば奉仕活動によって人間的な成長をはかるなどと言うのは、多くの方からお叱りを受けることになるかもしれませんが。

私はワイズの仲間に入れていただいて3年が経過しましたが、勉強不足のためにわからないところだらけです。会長となるからには、張り切るとかそういうことではなしに、勉強もして仕事は果たしていかなければならないと思います。ワイズではまだ若手であります(このようなことではいけないのですが)、皆さんのお支えなしには会長を務めていくことはできません。どうかよろしく願います。

6月例会報告

ドライバー 廣瀬 一雄メン

6月例会は先月の山口六甲部 部長の六甲部活動報告に続き 08-09年の評価を浜会長にお願い致しました。一年間の活動報告は六甲部報に記載されます下記のとおりでした。会計決算と予算についての説明、協議が山本会計を中心に進められました。浅野次期会長からは新年度にむけて活動方針・キャビネット・行事計画等の案が示されました。

ビジターとして神戸クラブの尾上会長代理と西宮クラブへの入会予定の余島リーダーOBの馬場さんが出席されました。



浜会長より三島担当主事へLD教育資金の贈呈式

浜会長 08-09 活動報告 区大会バナーセレモニー

会長主題 『参加して、奉仕しよう！』

Let's join us in serving others!

活動方針

お互いの思いやりを大切に
楽しいクラブ・ライフづくり。

神戸 Y M C

Aへの協力を通じて世界平和を！

新世代・光り輝く子どもへの関わりを中心に
応援している団体へのサポート。

活動報告

楽しく、参加したくなる全員参加の例会にし、会員各位の成長の場とする。

時間厳守の緊張した例会と楽しく、思いやりのある有意義な例会で会員のレベルアップおよび六甲部行事や西宮 YMCA 行事への移動例会開催。

記念例会やクリスマス例会など他クラブの例会にも参加。



神戸YMCAの行事やチャリティープログラムに積極的に参加・協力し、国際協力事業のサポートを拡げてゆく。

西宮YMCAの地域カーニバル、ファミリープログラムなどに参加し、タイワークキャンプやLD教育支援など。

神戸YMCAのチャリティーラン、チャリティーゴルフ、チャリティーワイン、YYフォーラム、国際協力街頭募金、午餐会、維持会員の集いなどに参加。

応援している団体への奉仕活動を実現する。神戸いのちの電話、家庭養護促進協会、楽団「あぶあぶあ」等の映画上映会、講演会、定期演奏会に参加および本の購入など。

その他の報告・特記事項

山口政紀六甲部長をサポートし、六甲部の行事とプログラムに積極的に参加

次期西日本区理事鈴木誠也氏の支援コンサートへの協力

篠山クラブ設立準備会への協力

ブリテンの電子化

近江岸建助メンを偲んで

小野 勅紘メン

5月31日(日)の昼下がりに、神戸YMCAで、昨年5月29日に神様の下に召された近江岸建助メンの記念会が持たれました。

近江岸建助メンが大好きだった余島の仲間たちを始め1500人の方々に見送られ旅立って1年。余島の王様と呼ばれた彼の一生はまさに余島に捧げた人生でした。川上盾東神戸教会牧師が「薪のような人になろう」と歌って、その通り生き



た人でした。

武田理事長、橋本沼島キャンプOBOG会会長、大谷西宮YMCA保育園主任から思い出を語っていただき、映像と共にキャンプソングを歌って在りし日の近江岸メンを偲びました。

私が彼と始めて会ったのは彼がまだキャンプのアプリンティス(見習い)として活躍していた頃でした。やんちゃな高校生とう感じでしたが、その後大学進学と同時に余島リーダー神戸YMCAに奉職。その後、余島一途に駆け抜けました。その後再開したのは、彼が足を怪我して杖をついてのキャンプ長でしたが、旧少年部リーダーOBOG会のキャンプとしてお世話をしてくれました。足が悪いのに、筍掘り、桜桃取り、モーターボートでの島巡り、キャンプファイアと付き合いしてくれました。

その後、足が悪いこともあり西宮YMCA保育園園長として立ち上げに尽力されました。保育園児に接する時も余島でキャンパーを見守る時の優しい眼差しと同じでした。

勤務が終わるとリュックを背負って杖をついて、三宮のイカリスーパーで食材を仕入れにいく姿が目につかびます。

西宮保育園に着任と同時に西宮ワイズメンズクラブに入会し、副会長として活躍されました。

ギターの名手として、余島キャンプOBOG会のチャリティーコンサートで高石とも矢さんとのセッションも忘れることが出来ません。

神戸YMCAの定年を迎え、これからやりたいことは一杯あったでしょうこの時期に召されたことは本当に無念であったことでしょう。我々は彼が望んでなし得なかった夢を引き継いで、実現していく義務を持つ一人ひとりであることを胸に彼に誓うものでした。

西日本区大会報告

廣瀬 一雄メン

6月6日、7日と熊本で西日本区大会が開催され、西宮クラブから山口六甲部長夫妻、浜会長夫妻、足立部会計、小野次期区事務局員と廣瀬部書記夫妻が参加いたしました。その報告を山口部長の六甲部 ML での報告を次に掲載いたします。

六甲部 各位

2009年6月第12回西日本区大会熊本は“大いなる成果で終了しました”

佐藤理事から鈴木理事にバトンタッチ！

6月5日～7日、熊本区大会は熊本9クラブ他、多くにワイズのご努力で無事大成功をおさめ、好い思い出と充足感で次期への引き継ぎがなされました。



六甲部活動報告は石田由美子広報主査さんのご協力、前潟主事・三島主事の援助でパワーポイントを用いてなされました。

山口政紀 大田厚三郎部長へのバッジも渡りました。この一年間皆様のお支えで何とか部長の役割を果たすことができました。

心よりお礼を申し上げます。有難う御座いました。

簡単な報告ですがお礼とともに……………

山口政紀（六甲部）

西日本区だより-3

小野 勅紘メン

ワイズメンズクラブは熊本での西日本区大会、十勝で

の東日本区大会を終えて、いよいよ次期への期替わりの時期を迎え、気を引き締めて準備に余念のない、気ぜわしい割に落ち着かない時期でもある。空前の成功裡に終わった熊本西日本区大会の後は広島での次期第13回西日本区大会へのプレッシャーにもなっている。

幸いにも小部である西中国部一丸となって赤羽実行委員長はじめ広島クラブの皆さんが順調なスタートを切って準備が進んでおられる様子を見て頼もしく思います。

そこで気になることがあります。昨年びわ湖で華々しく3クラブ合同60周年記念例会を開催し、次回幹事役となる予定の広島の渡邊メンから、3クラブ合同例会は2年おきに行おうとの提案があったからである。そうすると西日本区大会ともろにぶつかってしまい、これも大変だと思うのです。

そこで妙案を思いつきました。3クラブのトライアングルD B C がせっかく実現したのであるから、ここはチームワークを発揮して、幹事役である広島クラブに全てをおまかせするのではなく3クラブの西宮クラブ、近江八幡クラブも広島クラブのスタッフに混じって大会をサポートしてはどうかということです。（担当を持ってはどうか）

（西日本区理事事務局スタッフ）

BOOKS 紹介

小野 勅紘メン

昨年11月にイエス団事務局長の中田一夫さんにお越しいただき賀川豊彦献身100年事業についてお話をお聞きしましたが、その関連の書籍が復刻も含めて発刊されましたのでご紹介します。

- ・「死線を越えて（復刻版）」PHP 研究所
1,575円（税込み）

山口政紀メンが理事を勤められ、私の所属する神戸イエス団教会やコープこうべの生みの親であり、

多くのセツルメントを立ち上げてこられた社会事業家である賀川豊彦先生が神戸の貧民窟に身を投じられた原点となった名作です。この本は関東大震災の直前に発刊され、200万部という空前のベストセラーとなり、印税は賀川活動の礎になりました。賀川が東京に移り世界に羽ばたいていくきっかけにもなりました。

・「空中征服 賀川豊彦大阪市長となる」

不二書房 1890円(税込み)

当時賀川豊彦が大阪市長も歴任したのかと思ったら、実は夢であったというSF仕立ての賀川持ち前のユーモア小説である。

大阪市長となったらこんなことをしたいと現代風に言えばマニフェスト満載。賀川は若い頃から女性の能力を評価しており、100年後の日本を予見している。女性が参政権を獲得し(当時はまだ認められていない)平塚雷鳥と与謝野晶子が政権を動かしていると予見している。賀川豊彦献身100年事業の委員をされている賀川督明氏が後書きを書いておられます。

・「賀川豊彦を知っていますか」教文館

阿部司郎他著。1,050円(税込み)

私は賀川豊彦が育てた友愛幼稚園の前身である善隣幼稚園を卒園したが、賀川豊彦を知ったのは亡くなって4年後の神戸イエス団教会に通うようになってからである。

もしという言葉は歴史には禁句であるが、あえて「もし」という言葉を使うなら賀川があと5年長生きをしていたら日本で最初のノーベル平和賞を受賞していて、日本の未来はかなり変わっていたであろうと予想されるからである。賀川豊彦を今の我々はどれほど知っているであろうかと問いかける本である。賀川が指し示した「愛と協同」の献身は、社会主義が崩壊し、資本主義も100年に一度という恐怖に襲われている今こそ、「第三の道」として改めて世に問われていることが感じられます。

・「花も花なれ、人も人なれ」細川佳代子著

角川書店、1,600円

賀川豊彦の本ではないが、かつて2005年の西日本区大会でメネット事業して石合メネット主任が展開し、1500円のTシャツを30万枚売ったあの知的障害者の第3のオリンピック「スペシャルオリンピックス」への献身ボランティアの本である。

細川護熙首相夫人として活動する一方でのボランティア活動奮闘記。その中で熊本ジェーンズクラブの中村勝子さんとの出会いと情熱が書かれています。体育教師であった中村さんが1991年にとも子ちゃんを連れてミネソタ第8回大会に参加した活躍に胸打たれて始めたとのことでした。スペシャルオリンピックスの精神は盲目のピアニスト辻井伸行さんにも通じています。

水の流れるまはに20

(俳句)

小野 勅紘メン

まどほ
・間遠しく 噴水極楽 昼下がり

(一昨年の暮れに妹夫婦の赴任地パースを訪ねた。キングス・パーク噴水を前にすると虹が掛かって極楽である。時間も空間も超越した昼下がりである。) [注]「間遠しき」:時間も空間も超越した様

・卯の花や 都大路を 渡り来む

(卯の花は卯月とも言われる旧暦の四月の花。現在の5月でその頃の都大路では葵祭が練り歩く。卯の花の香りが渡り来る祭りでもある。)

・旅に出て 目纏ひ 払ふ 豪州路

(オーストラリアでは暑い時期目纏いといわれる虫が無数に顔の回りに纏わりついて煩わしい。払っても払っても寄ってくる。人口(2000万人)以上いるという牛やカンガルーの糞に集るせいだとか。)

音を重なる日々は心を重なる日々-46



楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム

LOVE 代表ひがしの ようこさん

音を重なる日々は心を重なる日々

- 46 今月もお休み 濱 浩一メン

西宮YMCA保育園だより

三島 浩司メン(保育園園長)
(西宮YMCA保育園だより6月号より)

6月の主題：動きだす

4月の入園、進級から2ヶ月。6月になると子どもたちも新しい環境に随分慣れ、お友達との関わりや遊びが活発になってきます。そんな矢先のこのたびのインフルエンザ騒動が子どもたちにどのように影響するか心配でした。しかし、保育園が再開されるといつもの元気な笑顔で戻って来ました。改めて子どもたちの心の柔軟さ、逞しさを感じています。

子どもたちが成長する過程の中で1～3歳位の間に「自分で！自分で！」「イヤイヤ！」が多くなってきます。またもう少し大きくなると「なぜ？どうして？」ということも増えてきます。親たちは、それまで何でも素直に受け入れていた子どもたちの変化に驚き、戸惑うばかりです。しかし、このような変化は子どもたちの「成長」の証しです。子どもたちの「自らの心」が大きく動きだして成長し「自らの意思」を伝えることが出来るようになった証です。神様は私たち人間を「御自分にかたどって」創られました。そのことには他の動物や植物と違った、さらに大きな愛が感じられます。アダムとエバが禁断の果実を食べてしまう「成長」をすることをご承知の上です。そして、過ちを犯した私たちを受け入れ、愛し続けてくださっています。

この季節は、多くの動物たちも出産、子育てを。植物もまた大きく枝を伸ばし、葉を広げ目に見えて成長していきます。子どもたちも新しい環境の中で、様々な動き(成長)を加速させていく季節のように思います。私たちも驚きや戸惑いとあわせ、子どもたちの「成長」すべてを喜び、受け入れることが出来るといいですね。

6月聖句：神は御自分にかたどって人を創造された。

(創世記1章27節)

リーダー会だより

西宮・宝塚YMCAリーダー会 下田 真以さん

いつも西宮・宝塚YMCAリーダー会をご支援いただきありがとうございます。

5月31日は野外活動トムソーヤの例会でした。5月は新型インフルエンザに対する措置により活動が休みになったり、子供達が通う小学校が休みになったりして、

例会を迎えるまで、「子供達は元気にきてくれるだろうか。」とか「活動を行うことができることができるだろうか。」などと様々な不安をいただきましたが、みんなで声をかけあい、協力しあいながら力をあわせて頑張ってきました。

例会当日、子供達の集合場所に行くと、集合時間の20分前から来てくれた子や、にっこり笑って「リーダー！おはよ！」と言ってくれる子がいました。子供達を見て、すごくうれしくなりました。例会では山遊びや川遊びをしたのですが、カニを捕まえ「こんないっぱいつかまえてん！」と目をキラキラさせながら自慢げにお友達やリーダーにみせる子供の姿がとくに印象に残っています。また、例会後、捕まえたカニを最後に川に返してあげた子供達がいいたということ聞き、子供達のそんな優しい気持ちにうれしくなりました。

野外活動を通して、子供達は沢山の人や自然に出会います。そんな人や自然と関わる中で、自分を大切にしながら、そのような相手も大切にできる心を持って欲しいと思います。これからも子供達とじっくり遊びながら、そんな子供達の心の成長の為、私達リーダーが少しでも手助けできたらいいと思います。



西宮YMCA 三島浩司メン

昨年の7月28日、神戸市灘区の都賀川が上流の豪雨で増水し、近くの学童保育の子どもたちなど4人が死亡する事故がありました。個々西宮YMCAの近くを流れる夙川でも、数年前に河口付近で釣りをしていた男性が突然の増水で流されて死亡する事故がありました。この夏も小学生が池で、中学生が川で等々、水の事故が報じられています。YMCAでは夏休みの様々なプログラムの募集を行っていますが、その中には、海や川などの水辺でのキャンプやプールのプログラムなども多く含まれています。また、YMCAの幼稚園や保育園でもプールでの活動が始まります。私達は大丈夫！ではなく、水の事故の可能性はどこにでも潜んでいることを忘れず、気持ちを引き締め直して夏のプログラムの準備を進めたいと思います。皆様もお気をつけて、楽しい夏をお過ごしください。

1. 2009年定期総会 開催

5月29日、総会実行委員会の皆さんが準備してくださった総会に、約120名の会員や職員が集り、神戸キリスト教青年会(神戸YMCA)の定期総会が開催されました。より会員主体の総会に事業報告にということで、学校法人、社会福祉法人からそれぞれの常務理事の報告を、また、各委員会の委員長アピール、クラブ幹事会アピール、125周年に向けてのアピールなども行われました。また、名誉会員としては永く余島やヨットクラブをご指導いただいた鎌方志郎さんと永くワイズメンとして、また聖公会司祭としてご指導いただいた山根貞夫さんを顕彰されると共に、何組かのボランティアの表彰も行われ、会員やボランティアによって支えられ動いているYMCAの姿を確認できた会でした。

2. 近江岸建助名誉主事を偲ぶ会 開催

5月31日、昨年5月29日に惜しまれつつ逝去された近江岸建助さんを偲ぶ会が三宮会館チャペルにて開催され、約200名の方々が参集されました。会では東神戸教会の川上盾牧師によるメッセージがあり、海を見たら父を思い出してほしいというご子息、建太さんの言葉から近江岸さんの思い出と追悼のお話がありました。その後、武田寿子会長、橋本照夫さん(リーダーOB)、保育園の大谷真理先生から思い出が語られ、今井鎮雄顧問からもお話がありました。リーダーOBの皆さんをはじめ、近江岸さんに親しい方々が多く集り、思い出を語り、故人を偲ぶ穏やかな時となりました。

3. 神戸YMCA創立125周年実行委員会 スタート

6月1日、神戸YMCA125周年実行委員会の第1回会合が開催されました。この実行委員会には、歴史資料の収集と記念小冊子の作成などがテーマとなる「歴史編纂チーム」、記念のイベント企画実施がテーマとなる「プログラムチーム」、ポスターやちらしの作成をはじめ、メディアへの情報提供や広報記念グッズなどを担当する「広報チーム」、記念式典の企画や資金調達と全体の調整を担当する「総務・協賛チーム」といった4つのワーキンググループが設置されます。このように委員会が立ち上がり、多くのボランティアの皆様とスタッフが両輪となって2011年に向かっていきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

4. リーダー委嘱式 開催

6月4日、新型インフルエンザのために延期になっていました今年度のボランティアリーダー委嘱式が開催されました。本来は5月24日に時間をとってリーダートレーニングと委嘱式が行なわれる予定でしたが、新型インフルエンザの影響による延期のため、通常のリダートレーニング終了後に、短く委嘱式が行なわれました。水野総主事から各リーダー会の代表の方に委嘱状と聖書が贈呈され、この一年のご奉仕に感謝と期待を延べられました。このボランティアがこの夏、子どもたちと共に過ごし、奉仕の業をなし、またそのことを通してボランティア自身が成長するというYMCAの夏でありたいと願っています。

5. 姫路YMCA創立60周年記念式典 挙行

6月13日、姫路福音教会において、姫路YMCA創立60周年記念式典が挙行されました。姫路YMCAは戦争の空襲で廃墟となった姫路の町に、戦後1949年に姫路市内のいくつかの教会の教会員によって創立されました。開設当初から神戸YMCAと深い関係を持ち、今井鎮雄顧問が指導に関わってこられました。その関係もあり、記念式典では、記念礼拝の後、今井顧問による講演会がもたれ、その後、祝賀会が開催されました。どのパートにおいても、姫路YMCA会員の篤い祈りと献身的な努力と行動が讃えられていました。今なお、財政的にも大きな困難のある中で、山川一郎理事長をはじめとして多くの献身的なレイパーソンと共に、八杉光春総主事以下、職員の皆さんが懸命の努力をしております。神戸から出向中の齊藤 靖さん、達 直樹さんも元気に頑張っております。姫路YMCAは創立60周年を記念して、大きな募金活動を始められました。お支えいただければ感謝です。

6. 今後の予定

1) 第22回午餐会

今回は昨年開校したばかりの関西学院初等部(小学校)の部長(校長)である磯貝曉成さんにお越しいただき、「日本の中等教育に欠落していたもの」と題してお話をいただきます。関西学院の新しい初等教育の現場から、子どもたちの教育に大切なことは何か、示唆に富むお話を伺います。是非、ご予約ください。

日 時：7月4日(土) 12:00~14:30
場 所：神戸YMCA 4階 サイコー亭
会 費：3,000円(含：昼食)
申込先：神戸YMCA本部事務局
TEL：078-241-7201

余島からあなたへ

「ボランティアリーダー」

余島野外活動センター 中島 晋さん
神戸YMCAにはご存知の通り、大学生(時には高校生)のボランティアリーダーが数多く活躍しています。余島リーダーはもちろん、子どもと野外活動を楽しむリーダーや、海外の災害時に復興のため街頭募金などしてくれる国際担当のリーダーなど幅広い活動をしています。

先週末には延べ70名の余島リーダーが夏のキャンプ準備のために、余島に来てくれました。夏に向けて、子どもたちが寝る毛布やテントを干したり、ほこりをかぶっていたキャンプ用品を整理したり、まだ寒い海に入って子どもが泳ぎやすいように浅瀬に生えている藻を抜いたりと着々と準備が進んでいました。毎回会うたびに挨拶をしてくれるリーダー、物静かなリーダー、大きな声でみんなを統率するリーダーなど様々で、こちらから見てみると個性とはこうゆうことかとしみじみと納得させられます。

そんなリーダー達は、時に私たち職員から怒られ、ハードなスケジュールを乗り越え、そして何よりも、自分たちグループの子どもたちを如何に行動範囲を拡げながら、安全確保できるかを考えなければいけません。

しかし、そんなリーダーたちを見ているとリーダー経験の無い私はとてもうらやましく感じます。それは、周囲2キロの島で子どもたちの多くの笑顔に囲まれながら、大学生と言う青春真っ只中を共に過ごし、本気でぶつかり合うことができ、言いたいことがいえる関係は「仲間・同士」と呼び合える関係ではないのでしょうか。もしかすると普通の大学生だと味わえないかもしれません。

暗いニュースが多い現代の世の中だからそこ、今年も余島では子どもたちが笑顔いっぱい元気に活動できるよう、リーダー達よ、ガンバレ!

2008-2009年度 感謝号

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

理 事 通 信

西日本区理事 佐藤 典子

理事主題 「思いやりを持ってワイズライフを！」



西日本区大会フラッグセレモニー(6月6日)

わかち合いは微笑みをもって

盛夏に向かう梅雨の季節ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。すでに引継例会を済ませられ、会長バッチも皆さんの襟から新会長に渡されていることでしょうか。

本当に1年間お疲れ様でした。また、ありがとうございました。

皆様のご協力で代議員会・区大会と成果を持って終了することができました。

今、私はワイズによってしか得られない学びと感動を感じております。もちろん、皆さまと同じように壁にあたり悩み苦しんだこともございましたが、多くのお支えをいただきました。

正式な理事通信は先月号で終了、次年度の理事通信が新会長に配信されていると思います。この号は感謝号とし、ともに活動をいただきました会長の皆様にお届けいたしました。あらためて、この1年、一緒に活動いただきました役員の皆様、会長の皆様に心より感謝申し上げます。

トピックス・とびっくす

廣瀬 一雄メン

小生は現在動物行政の仕事に携わっておりますが、環境省が所管している「動物の保護及び管理に関する法律」とは、を前回に続いて紹介しましょう。

環境省が所管している「動物の保護及び管理に関する法律」とは、を前回に続いて紹介しましょう。

9. 国や地方自治体の取組み

国は基本指針を定め、都道府県は地域の状況に即した推進計画を定めます。また、都道府県や政令市の長は、動物の愛護と適正な飼養を推進するため飼い主などに必要な助言を行う動物愛護推進員を委嘱し、その活動を支援するため協議会を組織することができます。

10. 罰則

愛護動物をみだりに殺したり傷つけた者は1年以下の懲役または100万円以下の罰金、給餌・給水などを怠った者や遺棄下(捨てた)者は50万円以下の罰金に処せられます。また、許可をうけないで危険な動物(特定動物)を飼ったり、登録せずに動物取扱業を営んだ者も、罰金や懲役などに処せられます。

でお会いした、神戸ポートの丹羽メン、橋本メン。その丹羽メンもその男声合唱団に所属されているのでコンサートの件をお話すると自身の定期検診で参加できないとのこと。

帰西したのち西宮市役所に午後0時20分から始まるコンサートを聴きに行きました。“いい日旅立ち”など5曲を発表され多くの聴衆の拍手の中アンコール。終了後団長の石坂さんにご挨拶。するとそこには定期健診がえりの丹羽メンも。陣中見舞いと応援にわざわざ神戸から西宮に。



編集後記 プリテン委員長 廣瀬 一雄

6月7日、日曜日にすごく盛り上がりがあった熊本での西日本区大会が終わりました。翌日は熊本観光と、



まずは水前寺公園へ。午前9時過ぎ、入園したその時私の携帯に電話がかかってきました。なんと電話の先は神戸ポートの石坂ワイズ。なんのお話かと伺うと、明日、9日、西宮市役所のロビーコンサートに氏の所属するセレスティーナ男声合唱団が出演とのこと。拝聴さ

せていただきます、のお返事をしてさっそく園内に。しばしメネットと園内を散策していると、そこになんと昨日の午後にも熊本城観光

